校長室から

校長 河須﨑 恒

秋の「つるべ落とし」ではありませんが、朝 まずは スポーツの秋 体育祭 晩めっきり寒くなってきました。今年の秋は駆 け足ですね。

さて、10/27 から秋の読書週間が始まりまし た。まだ戦争の傷跡がそこここに残っていた終 戦の2年後、今から68年前に「読書の力で平 和な文化国家をつくろう」と産声をあげたのだ そうです。今ではすっかり日本の国民的行事と なりました。春(GW中)に行なわれた「子ど!間がとれないた もの読書週間」。今年のキャッチフレーズは「本」めか、こういう はキラキラ 万華鏡」でした。素敵ですね。 小さな子供たちが目をキラキラさせて本の世界「でも、多少の擦 に入っている姿を想像させてくれます。一方. 秋の標語は「いつだって、読書日和(びより)」「章。何度転んで です。最近あまり本を読んでいなかったと思い「も走ります。 当たった方は、早速手にしてみて下さい。

昨年の「学校読書調査」によると、携帯電 話やスマホで世の中の出来事を知る高校生が 5年前の47%から74%と激増。生徒にとっ て情報収集の手段としては、まさに「進む新 聞雑誌離れ・広がるスマホ」です。一方で, 子供たちの読書量も増加しており、さらには、 本を読まない子供より本を読む子供の方が, う調査結果もありました。情報基盤社会と称 される現代ですが、「情報の言葉と違って、本」生。絶対に負けるわけにはいきません。 の言葉には重さがあり、そこに凝縮して存在 している。重さがあるということは、すぐに は消化できないことであり, 重さを手にした 人間は重さと付き合うことを要求される。」と, 現代評論家の小林康夫さんが書いておられま した。「考える読書」は、ある意味苦しみを伴 います。ですが、その苦しみも含めて「考え る」という歓びでもあります。

『めくる めぐる 本の世界』。昨年の読書 週間標語です。一人でも多くの高校生諸君が、 本の豊かな世界を楽しんでもらえることを願 ってやみません。

~11月以降の主な行事予定~

11月2日:いばらき教育月間・学校公開

25日:地域合同避難訓練

12月1日:第四回定期考査(~4日)

16日:保護者面談~21日まで

22日: 閉講式

秋は行事が盛りだくさん



各クラス工夫を凝ら したオリジナルのクラ「呼ばれる本島北部、トレ ス旗を先頭に入場です。 写真では見えませんが, 個性豊かな旗が翻りま

シーンが続出。 り傷切り傷は動



2年生綱引き優 勝の瞬間。左端で 拳を挙げて叫んで いるのは担任です。 一番大きな声を上 げて喜んでいまし

下の写真は、部対抗リレー、女子の部。各運! 「よりよく電子機器を利用できている」とい「動部の威信をかけて,というのは大げさですが, 手を抜く選手はいません。先頭は、陸上部3年 かさに、別れの涙



が生き生きと過ごした一日でした。3年生は、よたが、劇団員の皆さんの演技にいつの間にか見 最後の大きなイベント。この日を最後に、就職:入っている自分がいて驚きました。そして、戦 試験や進学準備が本格化します。それぞれの希は争を知らない私たち若い世代も、更に若い世代は 望を実現させるべく、努力の成果を発揮してく「に、戦争があった事実を伝えていかなければな」 れることを願っています。

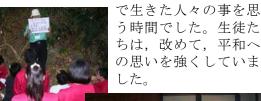
沖縄へ行ってきました~2年生 修学旅行~

見えますか?滝に打たれてみました。滝壺で**『陸上部** 新人県大会 泳いでいる生徒もいます。沖縄,「やんばる」と 男子 4×400 m R 第8位

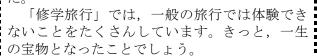
ッキングの後でこんなご 褒美に出会えました。

沖縄修学旅行,無論「修 学」です。事前学習でお 話を聞いた「ひめゆりの 塔」を訪れ、戦時中、人 々が避難していた自然洞 窟<ガマ>にも入りまし た。ガマの中は今まで体

験したことのない本当の暗闇。70 年前にあの中 11/1日(日) 対 明秀日立 0-1



民家にも宿泊さ せていただきまし た。家族同様に接 してくださった暖 があふれていまし



こちらは芸術の秋~「爺さんの空」~10/8

修学旅行中, 鹿嶋勤労文化会館をお借りして,

芸術鑑賞会が開かれまし た。今年は、戦後 70 年 ということもあり、特別 攻撃隊を扱った芝居で す。3年生の感想を紹介 します。



終日晴天、まさに秋晴れの空の下、全校生徒: 最初は戦争にはあまり興味がありませんでし らないと改めて思いました。

鹿高なう~秋~

男子 やり投げ 第8位 男子 800 m 第8位

女子 三段跳 第6位

弓道部

中野優勝旗記念大会 男子団体 準優勝 男子個人 第3位

関東弓道個人選手権選抜大会出場 男子個人

サッカー部 全国高校選手権大会茨城県大会

10/24 日(土) 対波崎 6-0 10/28 日(水) 対 下妻第二 2-0

で生きた人々の事を思**! 1 年生はバス見学会も・・ 10/6**

う時間でした。生徒た キャリア教育の一環として、都内の企業と大 ちは、改めて、平和へ、学を見学してきました。企業は、セイコー、サ



ントリー,東京証券取引所や 造幣局,新聞社などです。大 学は早稲田、慶応、上智、青 山, 筑波, 学習院, 成蹊。写 | 真は, 早稲田にある坪内逍遙 記念演劇博物館です。三年後 は「見学」ではなく・・

編集後記:今年の芸術鑑賞会、『爺さんの 空』には、「神ノ池航空隊」という台詞が 出てくる。戦時中、鹿島・神栖地区にあっ た部隊のことである。夏には、「戦後70年」 ということで、神栖の図書館でパネル展が 開かれた。また、新日鐵住金の近くには、 櫻花記念碑と掩体豪も残されている。この 地にその頃からお住まいの方の中には、彼 らと過ごした時間の記憶をお持ちの方もい らっしゃると聞く。今回の芸術鑑賞会、未 来を生きる若者が、 忘れてはならない過去 の記憶と向き合うきっかけになってくれた ら、と思う。

茨城県立鹿島高等学校 学校だより 『鹿苑だより』第18号(隔月刊)

発 行:茨城県立鹿島高等学校 校長 河須﨑 恒

編 集:広報委員会

中沢雅彦 山﨑律子